

プロセス設計 (Process Design System)		5年・通年・2学修単位()・必修 物質化学工学科・担当 高橋 邦壽	
〔準学士課程(本科1-5年) 学習教育目標〕 (2)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 B-2(70%), D-1(30%)	〔JABEE 基準〕 (d-1),(d-2a)	
〔講義の目的〕 ファインケミカルのプロセス開発は、実機生産設備・運転方法を理解した上で、ラボ実験、パイロット実験を実施し、その結果に基づいて最適運転条件の設定を行いスケールアップする。講義内容は工業化研究(ラボ実験、パイロット実験、実機関連情報など)でよく使用する単位操作について講義を行うので内容を理解し技術を習得する。			
〔講義の概要〕 工業化の進め方、物質収支、熱収支、PFD、EFD の作成・読み方および流動、計測、伝熱・濃縮、攪拌、プロセスの安全性・薬品のハンドリング、危険性評価、反応、抽出・分液、蒸留、晶析、ろ過、乾燥、粉体ハンドリング、粉碎・分級、静電気、装置材料について、実験・測定手法、解析手法、トラブル事例、問題解決事例など入れて講義する。			
〔履修上の留意点〕 年4回の試験で理解度を確認する。プロセス設計するためには多くの知識が必要になるが、各単位操作の設計、スケールアップポイントを教育から習得してほしい。			
〔到達目標〕 前期末試験 : プロセスの構築、設計、流動、計測、伝熱・濃縮技術、攪拌技術、薬品ハンドリング プロセス安全性・危険性評価の基礎について理解 学年末試験 : 抽出・分液、蒸留、晶析技術、晶析、濾過、乾燥、粉体ハンドリング、粉碎・分級技術、 静電気安全、装置材料の基礎について理解			
〔評価方法〕 年2回の定期試験(70%), 課題提出など(30%)を加味して評価する。			
〔教科書〕 「プロセス設計」 編集 高橋邦壽 〔補助教材・参考書〕 補助教材: 化学工学 教科書			
〔関連科目〕 化学工学, 反応工学, 安全工学, 粉体工学			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	スケールアップ技術	ファインケミカルプロセスの特徴、連続とバッチ、開発の流れ、関係部門の関わり、スケールアップ因子などを学ぶ	
第2週	スケールアップ技術	工業化の進め方、データの取得、PFC、物質収支、熱収支 PFD、EFD 作成などを学ぶ	
第3週	流動技術	流体の管内圧力損失、粘度、流体の輸送などを学ぶ	
第4週	流動技術	液体、スラリー輸送ポンプ(種類、構造、特性)などを学ぶ	
第5週	計測技術	pH 測定(原理、アルカリ誤差など)を学ぶ	
第6週	計測技術	温度計測、圧力計測、液面計測、流量計測などを学ぶ	
第7週	伝熱・濃縮	熱の伝わり、総括伝熱係数の算出、伝熱計算などを学ぶ	
第8週	伝熱・濃縮	ファインプロセスにおける濃縮操作、操作ポイントなどを学ぶ	
第9週	攪拌技術	攪拌混合の基礎(流動特性、攪拌所要動力)などを学ぶ	
第10週	攪拌技術	動力数の推算、与える要因、測定方法などを学ぶ	
第11週	攪拌技術	攪拌翼・方法・フローパターン・混合性能などを学ぶ	
第12週	攪拌技術	スケールアップ因子、液-液・固-液・気-液混合などを学ぶ	
第13週	プロセス安全評価・薬品ハンドリング	プロセス安全評価、薬品ハンドリング・危険性などを学ぶ	
第14週	プロセス危険性評価	プロセス危険性評価(DSC,ARC など)方法を学ぶ	
第15週	反応技術	プロセスの構築、反応熱測定・推算、スケールアップなどを学ぶ	
前期期末試験			
第16週	抽出・分液技術	抽出操作・設備・計算方法、分液速度測定などを学ぶ	
第17週	蒸留技術	蒸留設備、蒸留操作と物性、理想・非理想状態などを学ぶ	
第18週	蒸留技術	気液平衡線図、無限活量係数、気液平衡の推算などを学ぶ	
第19週	蒸留技術	Rayleigh 式、フラッシュ蒸留、精留計算などを学ぶ	
第20週	蒸留技術	蒸留実験、精留塔、充填物、蒸留システムなどを学ぶ	
第21週	晶析技術	結晶化、溶解度曲線、冷却晶析、データ取得などを学ぶ	
第22週	晶析技術	核化、シード晶析、結晶成長、生産速度などを学ぶ	
第23週	晶析技術	晶析方法、結晶多形と測定、結晶化、粒度分布測定などを学ぶ	
第24週	ろ過技術	ろ過装置、ろ過理論、スケールアップなどを学ぶ	
第25週	ろ過技術	遠心ろ過・脱液理論、スケールアップ、設備などを学ぶ	
第26週	乾燥技術	乾燥機の特徴、スケールアップ、トラブル防止などを学ぶ	
第27週	粉体ハンドリング	粉体トラブル、粉体物性測定(動的・静的、他)などを学ぶ	
第28週	粉碎・分級技術	粉碎机分類・特徴、スケールアップ、乾式・湿式粉碎情報、分級などを学ぶ	
第29週	静電気安全	静電気危険、帯電原理、着火・爆発、静電気対策などを学ぶ	
第30週	装置材料	金属材料、グラスライニング材料の耐食性を学ぶ	
学年末試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)